

## 新型コロナ対策地域活性化キャッシュレス事業、公共施設のトイレの洋式化など

議案第94号 令和2年度加西市一般会計補正予算（第10号）について

### ◆質疑

#### ふるさと納税

**問** ふるさと納税特産品費6億8,000万円の増額補正の根拠と返礼品について。

**答** 令和2年11月末現在で、ふるさと納税受入額が22億7,000万円となり、令和元年1年間の寄附額を超えています。増加の要因は、新型コロナ感染症の影響により自宅で使う製品の需要が高まったことや、ふるさと納税サイトのトップページをリニューアルしたこと、また、イオンでのPRブース設置など市独自の取組、さらに受入額の増加に向けて事業者と連携して取り組んだことなどが考えられます。返礼品の内訳は、家電など工業製品が全体の約9割を占めている状況です。

#### 公共施設のトイレの洋式化

**問** 財産管理費の工事請負費4,000万円の内容は。

**答** 平成30年度から公共施設のトイレ整備を進めています。市役所本庁を含め26施設のうち、残り15施設の洋式化を予定しています。

**問** バリアフリー化やオストメイトなど多目的のトイレの必要性はどうか。

**答** スペースの問題はあるものの、出来る限りの対応をしていきたいと考えます。



#### 介護施設のコロナ対策

**問** 介護施設への備品購入841万円について。

**答** 介護保険施設における新型コロナウイルス感染症拡大のリスクを低減するために、簡易陰圧装置を設置するための補助金です。居室の気圧を室外よりも低く保つことにより、ウイルスが室外に拡散することを防ぐと共に、空気を循環させてウイルスによる感染を抑えます。要望のあった2法人5施設に交付します。



#### 地域活性化キャッシュレス事業

**問** 地域活性化キャッシュレス事業について、8月、10月と周知が進み、対象となる店舗、事業所、あるいはPayPay利用者が増えていると思うが、状況について。

**答** 登録店舗数は、8月の250店舗から10月は約300店舗と伸びています。今後は店舗数はあまり伸びないと見込んでいますが、期待感が大きいことから、10月以上のポイント付与額になると見込んでいます。また大型商品への流れを避け、飲食や小売など少額決済が見込まれる店舗への消費誘導など、裾野を広く利用してもらえるように、1回当たりの還元額を上限2万円から5,000円の付与に変更します。



#### 小規模事業経営持続支援金

**問** コロナの影響がまだしばらく続く中で、小規模事業経営持続支援金の今後の考え方について。

**答** 中小企業の事業再構築補助金や、業態転換を行う中小企業への支援、デジタル化など国の方針が出てきており、今後、市でも、新たなチャレンジをする事業所を積極的に支援するメニューを検討したいと考えます。



#### 泉こども園の跡地利用

**問** 泉こども園跡地の調査測量後の予定はどのようなになっているのか。

**答** 公募による用地売却を予定しており、登記上の問題がクリア出来れば売却手続を進めていく予定です。公募については、十分協議して準備を進めたいと考えています。



### ◆討論

なし

### ◆議決結果

全会一致で原案可決